

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

市町村名 つがる市

第7期介護保険事業計画に記載の内容				H30年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
①自立支援・介護予防・重度化防止	本市の人口は年々減少している中、高齢者人口が増加傾向にある。今後も増え続ける高齢者が、なるべく介護を必要とせず自立した生活を送れるよう地域課題を共有し、資源開発や政策形成につなげていくことが求められている。	自立支援・重度化防止をテーマにした地域ケア会議の開催	目標 H30年度 H31年度 H32年度 開催回数 2回 3回 4回	実施回数 2回 (1) 地域の高齢者と養護学校の生徒との交流について、既存の交流会を拡充させていくための意見交換を行った。 (2) 買い物や炊事が困難な高齢者への支援に関して、利用できる社会資源についての情報交換を行った。	○	(1) 高齢者の生きがいづくりと学校側のニーズがマッチしているため、高齢者と生徒が気軽に交流できる場を検討する。 また、高齢者への理解を深めるため、養護学校の教員を対象とした認知症サポーター養成講座の開催を検討する。 (2) インフォーマルなサービスについての情報が不足しているため、整理して活用していく必要がある。
①自立支援・介護予防・重度化防止	本市の人口は年々減少している中、高齢者人口が増加傾向にある。今後も増え続ける高齢者が、なるべく介護を必要とせず自立した生活を送れるよう介護予防の普及啓発が重要である。	一般介護予防事業(介護予防普及啓発事業)の高齢者健康教育「ふれあい教室」の開催	目標 H30年度 H31年度 H32年度 開催回数 71回 71回 71回 参加人数 1,900人 2,000人 2,100人	開催回数 87回 参加人数 2,202人(延べ) (内訳) ① 高齢者健康教育(ふれあい教室): 70回 1,787人 ② 若がえり健康教室: 10回 285人 ③ お口の健康教室: 3回 24人 ④ その他の介護予防教室: 4回 106人	◎	介護予防教室の実施、普及啓発活動は積極的に行っており、今後も継続していく。 教室等への参加の機会がない、閉じこもりがちな高齢者の実態把握やアプローチ方法について検討が必要。